

第 20 回 JOMF 海外医療情報交換会を東京で開催

2018 年 10 月 31 日(水)、学士会館 320 号室において、海外医療情報交換会が開催されました。まだ ゲストスピーカーとして東京医科大学病院渡航者医療センター 教授 濱田篤郎先生をお招きし、「最近の海外感染症事情－インバウンドも含めて」について講演いただきました。

【来場者】

総数 105 名が参加。うち、医療職の方々が 51 名、企業人事総務・海外部門の方々は 54 名。

【拠点医報告・JOMF海外巡回健康相談について】



1. マニラ日本人会診療所 菊地宏久先生

診療所の臨床報告、トピックとして、禁酒令と禁煙令についての解説、フィリピンでの“バラ色”と思われるリタイヤ生活の表と裏、長く取り組んでいる心肺蘇生セミナーについては演劇の舞台も活用して重要性を訴えた例を紹介いただきました。フロアからは輸血についての質問がありました。

2. シンガポール日本人会クリニック 日暮浩実先生

日本人会クリニックの活動報告のほか、1) シンガポールの治安について警察組織と犯罪の発生状況(犯罪発生率は非常に低い)を、注意を要する犯罪や、意外に知られていないことも含む禁止事項(横断歩道以外の横断、自殺、公共の場での泥酔など)、2) 医療制度 について伺いました。

シンガポールは禁止事項が多いことで有名ですが常識を守れば暮らせるとのこと。感染症では特にインフルエンザとメリオイドーシスについて詳しく解説をいただきました。



3. シンガポール日本人会クリニック 心療内科 日暮真由美先生

日本人会クリニック 心療内科の活動報告では、年間の診療状況全般の他、若い駐在員に見られるケースを紹介いただきました。30 代前半と後半以降の駐在員では異なる傾向があるかもしれないと考えられる例として、本人の海外志向の有無のほか、背景として会社側の人選と受け入れ事業所の体制も関わる複数の例を解説いただきました。



【ゲストスピーチ】

「最近の海外感染症事情－インバウンドも含めて」

東京医科大学病院渡航者医療センター 教授 濱田篤郎先生

1) 海外でリスクのある感染症、2) 最近話題の国際感染症、3) 訪日外国人の感染症についてお話しいただきました。質疑応答ではデング・狂犬病・黄熱の予防接種について、大学への留学生への予防接種の対応などが話題となりました。

今回の講演は、2 月の大阪セミナー(後述)でも同内容をお届けする予定です。



講演後は懇親会を開催、参加者と講師との有意義な交流の機会となりました。

海外のクリニックに勤務する医師にとって、会員企業の医療職・人事関係の方々とじかに交流することは日常

の診療にも役立つ非常に貴重な機会でもあるとのことです。
ご参加の皆様、ありがとうございました。

2019年2月22日(金)の15:30より大阪商工会議所で濱田篤郎先生
をメイン講師にお迎えして、大阪バージョンの報告会を行います。
関西地区の方、東京で都合がつかなかった方、もう一度聞きたい
方もぜひご参加ください。
詳細は後日お知らせの予定です。

